

新刊紹介

○外國地理掛圖第一輯 理學博士小川琢治著

東京麹町車町四一番地小林又七發行  
一輯八幅分 金貳拾五圓別冊索引共

我國の地理教育界で尤も不便を感じてゐることは適當な教室用掛圖の無いと云ふことであつた、博士はこれを慨せられて製圖家木崎盛政氏とばかりて迅速に内外地理掛圖を供給することに努力せられ其結果としてこの第一輯が出た。世界地文圖、同人文圖をはじめ、亞細亞、歐羅巴、アフリカ、南北アメリカ、太平洋洲の八幅いづれも五百萬分一乃至千二百萬分一である。これを見るに山脈高臺低原の表現法に新機軸を出し大さ三尺七寸に三尺六寸さいふ形であるが遠方から之を一見しても明瞭に地形がわかる、徒らに尅大な掛圖で教室の塗板全體をかくして、しかも遠くからは其地形が知れない從來の何れの地圖よりも比較的明確なことが本圖の以て特色とする所であらうと思はれる。著者は同時に二幅以上をかゝけて教示し得られると云ふことを説いてゐられるがいかにも其通りで、かの英吉利のジョンストンの掛圖などよりも遙かに要領を得てゐるのがうれしい。ことに從來の掛圖が軸裝で取扱上の不便もあり損傷も多かつたのを改めて、本圖は堅牢なる布裏打折疊式としてゐるから、取扱も便利なことであらうと思ふ。一見して或はこの掛圖は小さいな

り一九一〇年毛皮輸出量は栗鼠千五百萬枚、兎五百萬、アミシン貂七十萬、マルテン貂十五萬、鼬鼠十五萬、黑貂七萬、褐熊六千枚なりしが、一九二三年極東露國の見積高は左の如くヤク

- 黒貂 一〇、九〇〇乃至一一、五〇〇枚
- 北極狐 二五、〇〇〇乃至三三、〇〇〇
- 青狐 一、三〇〇其他二五、〇〇〇乃至三〇、〇〇〇
- 栗鼠 一、四一〇、〇〇〇乃至 一、五三〇、〇〇〇
- 褐熊 四、五〇〇乃至 四、六五〇
- 白熊 三、〇〇〇
- 獺 一六、〇〇〇
- 海豹 一〇、〇〇〇
- 海狸 四五〇乃至五〇〇
- 狼 三五枚

○太平洋の資源

適當に資源を保護利用すれば太平洋から年に十億弗の産物を擧げることが出来る、之には南太平洋及

南極洋のラッコを保護し恢復するのが第一の途ださカルフオロニヤ科學院博物館長のエヅアマン博士が云ふ。太平洋にはラッコ、オットセイ、鱈を初め四五十種の海生哺乳類が居る。處が沿岸三州外で之等の獵獲が行はれたので今では商業的絶滅に歸した處が多くなつた。北太平洋では日本、露西亞及北米合衆國に屬した三つのラッコの種類があるが、北米のものは一八六七年に三百萬頭居たが一九二二年に十二萬七千頭に減じた。其の後日本や英國との條約が出来て領海外の捕獲を制限した爲めに一九二四年に七十萬頭以上に復した。ラッコは四十頭の靴に牡一頭あれば繁殖に差支へないから、牡四十頭の中三十九頭を捕獲しても繁殖を妨げない。今では毎年二萬五千乃至五萬の余の若い牡を取り年に百乃至二百萬弗の生産を擧げられることになつた。南太平洋、南極洋で之と同様な保護をするさ又、捕獲に適する様に恢復することが出来る。

ご、云ふ人もあるが、そういう人にも然らば何を用ひておられるかと聞くに形は勿論本圖とは大いが、實はそれが世界全圖一軸であるさう滑稽なことさへあるのである、予は本圖の如き明るい感じのする明確な地形圖の出たことを喜び、第二輯も早く出来て、合せて十六幅のこの掛圖で以て活々した地理教授が全國に行渡る日の近からんことを祈つて止まぬ。

### ○岩石地質學

佐藤傳藏著

東京三星社出版部發行

正價 六圓五拾錢 大正十四年五月

本書は邦語にて書かれた唯一の岩石學書である。舊くは山崎博士の岩石學教科書があつたがそれは古くなつたのど手に入れられ易くないので、吾人は岩石のまことまつた知識を邦文書から獲得することが出来なかつた。今佐藤氏の著書を一覽すると岩石に關した殆んどあらゆる事項が盡されてゐて、日本産岩石の分析表を項毎に列記したり、美しい寫眞版で堅くるしい石の學問を吹けたり三十九頁に及ぶ一大索引を附して使用に便にしたりした點は殆んど編纂の最大努力を示したものと云へる。本書は佐藤氏の既著大鑛物學の姉妹篇であつて該書からまことまつた鑛物の知識を得た者は勿論のこと鑛物、地質、地理に興味をもつた人々の座右に必ず備へつけねばならぬものであることは本書を瞥見した者が即座に感ずる所である。

### ○改訂地文學講義

石川成章著 上下二卷

東京金剛芳流堂發行 定價各卷四圓

石川氏地文學講義は明治三十八年出版以來常に文檢地理科受

驗者の好同伴となり、殊に其の地質、地球磁氣學氣象等の部分は詳記されてゐて他の邦文地文學書の遠く及ばざる所であつた本年の改版に際しては新事實と新學說を補はれて一層完璧に近いものとなつたことは地文愛好者の喜びである。たゞ紙數に制せられた爲めに訂正すべくして猶至らなかつた所もまゝ見られるやうであるし、圖版が改版せられなかつた遺憾はあるものゝ舊版に比して數等の進境を見た。

### ○世界産業地理要論

左海猪平著 大正十四年四月

内外出版會社發行 定價參圓五拾錢

著者は神戸關西學院の教授にして其商科にての講義案を纏めたるものを本書とす、ツセルスミスの經濟地理を主要なる參考書として編纂せり。緒論三十頁や、簡略に失したるの恨あり、本論十五章各種の生産物及工業に關して大略の概念を得るに尤も好都合なる著述といふべく、但し其の日本の産出に係るものに關しては語りて詳ならざるものあり、例令ば、日本の米、綠茶、滿洲の甜菜、臺灣の蔗糖、日本の漁業、我國の製鐵業、日本の石炭、我國の水力、我國生糸の世界的位置、日本人の護謨栽培等今少しく解説を加へたらばと思はるゝ節多し、且かゝる地理書にして適切な挿畫地圖類を一葉も附せざるを遺憾とす。